



2024年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年9月13日

上場会社名 株式会社オービス 上場取引所 東
コード番号 7827 URL <https://www.orvis.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中浜 勇治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 井上 清輝 TEL 084-934-2621
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期第3四半期の連結業績（2023年11月1日～2024年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期第3四半期	8,588	—	449	—	452	—	345	—
2023年10月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2024年10月期第3四半期 390百万円 (—%) 2023年10月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期第3四半期	196.01	—
2023年10月期第3四半期	—	—

(注) 2024年10月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年10月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年10月期第3四半期	12,900	5,324	41.3
2023年10月期	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年10月期第3四半期 5,324百万円 2023年10月期 一百万円

(注) 2024年10月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年10月期の数値については記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年10月期	—	0.00	—	66.60	66.60
2024年10月期	—	0.00	—	—	—
2024年10月期（予想）	—	—	—	63.00	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2024年10月期の連結業績予想（2023年11月1日～2024年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,337	—	575	—	574	—	423	—	240.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

(注) 2024年10月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社（社名）寿鉄工株式会社、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年10月期3Q	1,767,104株	2023年10月期	1,760,787株
② 期末自己株式数	2024年10月期3Q	1,337株	2023年10月期	1,337株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年10月期3Q	1,762,747株	2023年10月期3Q	1,756,226株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき算定した見通しであり、今後の経済情勢の変化及び様々な要因によって、実際の業績は予想値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析は行っておりません。また、連結子会社となった寿鉄工株式会社のみなし取得日を2024年3月20日としているため、第2四半期連結会計期間においては貸借対照表のみ連結し、当第3四半期連結会計期間より損益計算書についても連結しております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2023年11月1日～2024年7月31日)のわが国経済は、収束の見えないロシア・ウクライナ問題に加え、中東情勢の緊迫化や中国経済の下振れ懸念等の影響により、先行きの不透明感が拭えないものの、経済活動の正常化に伴う個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復などから、全体として景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境のもと、2024年3月に重量鉄骨の加工等を行う寿鉄工株式会社の発行済株式の全てを取得し連結子会社化いたしました。同社は国が認定する鉄骨製作工場で、上から2番目のHグレード認定を保有していることから、その技術力を活かすべく優秀な人材の獲得や各種設備の更新に着手するなど、将来を見据えた事業展開を図ってまいりました。

その結果、売上高は85億88百万円、営業利益は4億49百万円、経常利益は4億52百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別利益として賃貸用不動産等の売却に伴う固定資産売却益82百万円の計上により3億45百万円となりました。

これにより、純資産は53億24百万円となり、自己資本比率は41.3%となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。営業損益につきましては、全社費用等配分前で記載しております。

(木材事業)

梱包用材等の業界におきましては、為替市場のボラティリティの上昇等やウッドショック後の中国経済の停滞によりプラント等の大型案件が減少するなど、市場環境は依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、輸出向け梱包用材等の受注減少分を国内向けのパレット用材、ドラム用材、土木用矢板材及び非住宅向けラミナ材の受注で補うなど、過年度より取り組んできた新規・休眠顧客の掘り起こしや新たな販路の開拓によって受注実績を積み上げることができました。この取り組みがウッドショック後の厳しいマーケットの中、高い工場稼働率の維持に繋がりました。また、円安が進行し外国産材はコスト高となった結果、国産材への切り替え営業を更に加速させるなど、提案型営業を強化いたしました。

トラックドライバーの時間外労働の上限規制が適用される2024年問題については、配送及び積み込み作業の効率化に努めるとともに、運送費の上昇に対しては販売価格への転嫁を進めてまいりました。

その結果、売上高は55億67百万円、営業利益は3億79百万円となりました。

(ハウス・エコ事業)

建設業界におきましては、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資についても持ち直しの傾向が見られるものの、人件費や建設資材の高騰に加え、人材不足や時間外労働の上限規制など一部の働き方改革関連法案が2024年4月から適用されたことへの対応(建設業の2024年問題)等、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境のもと、ダイレクトメールを活用した新規顧客の開拓や既存顧客との関係を強化し、顧客ニーズの多様化を的確にとらえ、提案力・品質等を含めた総合的な競争力の向上に取り組んだ結果、当第3四半期の単月において過去最高の受注実績となるなど、これまで進めてきた施策が徐々に成果として表れてきました。また、建設コスト高を反映した価格改善や外注費等の抑制に加え、連結子会社となった寿鉄工株式会社と連携し積極的な営業活動を行うなど、売上拡大及び収益の安定化に努めてまいりました。

その結果、売上高は24億8百万円、営業利益は98百万円となりました。

(太陽光発電売電事業)

太陽光発電システムの経年劣化に伴う部品交換等の実施により修繕費が増加したものの、減価償却負担が減少いたしました。

なお、現在運営している太陽光発電所は2ヶ所減少(賃貸用不動産の屋上に設置していた小規模の発電所)し3県15ヶ所となりましたが、総発電容量は約13メガワットを維持しております。

その結果、売上高は3億15百万円、営業利益は1億91百万円となりました。

(ライフクリエイト事業)

ゴルフ場業界におきましては、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことにより、お客様の娯楽ニーズが多様化し、ゴルフ場の優位性が若干低下したことに加え、豪雨や台風などの天候不良、猛暑の影響もあり、来場者数は僅かながら減少いたしました。一方、コンペにおきましては活発な動きが見られました。

このような環境のもと、コースコンディションに関しましては、グリーンやフェアウェイの状態を維持し、コースクオリティを徹底的に磨き上げ、来場者全ての皆様に満足いただけるコース作りに最善を尽くしてまいりました。

その結果、売上高は2億80百万円、営業利益は50百万円となりました。

(不動産事業)

2024年2月に賃貸用不動産2棟を譲渡し、不動産事業から撤退いたしました。

その結果、売上高は16百万円、営業利益は9百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、129億円となりました。その主な内訳は受取手形及び売掛金が13億63百万円、リース未収入金が23億28百万円、建物及び構築物が12億22百万円、機械装置及び運搬具が15億8百万円、土地が29億94百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、75億76百万円となりました。その主な内訳は支払手形及び買掛金が8億85百万円、1年内返済予定の長期借入金が10億93百万円、長期借入金39億65百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、53億24百万円となりました。その主な内訳は資本金が7億3百万円、資本剰余金が5億31百万円、利益剰余金が40億2百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年10月期の通期連結業績予想につきましては、昨今の事業環境や最近の業績動向を踏まえ、2024年4月15日に公表の業績予想及び配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2024年10月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (2024年7月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	989,229
受取手形及び売掛金	1,363,500
電子記録債権	448,216
完成工事未収入金及び契約資産	252,125
リース未収入金	2,328,495
商品及び製品	164,988
仕掛品	57,808
未成工事支出金	173,750
原材料及び貯蔵品	589,524
その他	323,969
貸倒引当金	△1,822
流動資産合計	6,689,786
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	1,222,563
機械装置及び運搬具(純額)	1,508,011
土地	2,994,429
その他(純額)	184,151
有形固定資産合計	5,909,156
無形固定資産	
のれん	11,190
その他	23,077
無形固定資産合計	34,268
投資その他の資産	
投資有価証券	200,597
その他	70,213
貸倒引当金	△3,354
投資その他の資産合計	267,456
固定資産合計	6,210,880
資産合計	12,900,667

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
(2024年7月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	885,289
工事未払金	294,941
短期借入金	100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,093,283
未払法人税等	28,472
賞与引当金	57,546
完成工事補償引当金	1,092
その他	805,413
流動負債合計	3,266,040
固定負債	
長期借入金	3,965,444
退職給付に係る負債	152,551
資産除去債務	9,736
その他	182,333
固定負債合計	4,310,065
負債合計	7,576,105
純資産の部	
株主資本	
資本金	703,974
資本剰余金	531,974
利益剰余金	4,002,992
自己株式	△1,301
株主資本合計	5,237,640
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	87,029
繰延ヘッジ損益	△107
その他の包括利益累計額合計	86,921
純資産合計	5,324,561
負債純資産合計	12,900,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
売上高	8,588,624
売上原価	6,966,074
売上総利益	1,622,550
販売費及び一般管理費	1,173,030
営業利益	449,519
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	3,208
仕入割引	273
受取賃貸料	3,600
補助金収入	15,827
雑収入	6,034
営業外収益合計	28,945
営業外費用	
支払利息	23,449
雑損失	2,439
営業外費用合計	25,889
経常利益	452,576
特別利益	
固定資産売却益	82,297
特別利益合計	82,297
税金等調整前四半期純利益	534,873
法人税、住民税及び事業税	162,219
法人税等調整額	27,131
法人税等合計	189,351
四半期純利益	345,522
親会社株主に帰属する四半期純利益	345,522

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
四半期純利益	345,522
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	44,955
繰延ヘッジ損益	△12
その他の包括利益合計	44,943
四半期包括利益	390,466
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	390,466

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自2023年11月1日至2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	木材事業	ハウス・エコ事業	太陽光発電 売電事業	ライフ クリエイト 事業	不動産事業	合計
売上高						
外部顧客への売上高	5,567,667	2,408,763	315,331	280,548	16,312	8,588,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,567,667	2,408,763	315,331	280,548	16,312	8,588,624
セグメント利益	379,666	98,481	191,755	50,399	9,725	730,027

※ 2024年2月に賃貸用不動産2棟の譲渡を行い、不動産事業から撤退しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	730,027
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△280,507
四半期連結損益計算書の営業利益	449,519

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

2024年3月5日付で寿鉄工株式会社の全株式を取得いたしました。これにより、ハウス・エコ事業セグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は11,936千円であります。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)
減価償却費	467,215千円
のれんの償却額	746千円